



Reitaku Overseas Development Association

# RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

令和4年  
(2022年)  
7月25日

第32号

第20巻第1号  
年2回発行

## 主な記事

巻頭 原点に立ち返り

心の通い合う国際協力を推進する

報告 JILAFが進めるバンコク・スラムでの教育支援

その他 会費等のお願いと納入者紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953

<https://www.reitaku.or.jp>

発行人・濱島直隆／編集人・横山守男

## 原点に立ち返り 心の通い合う国際協力を推進する

一般財団法人 麗澤海外開発協会

会長 廣池 幹 堂



新型コロナウイルスの感染拡大から3回目の夏を迎えました。こうした中、多くの方の命を救うために治療にあたっておられる医療関係者の皆様、またわが国の安全保障と国防の最前線に身を置いている自衛隊をはじめ、国民の生命・財産・安全を守るために懸命にご努力いただいている関係各位の皆様に、心からの敬意と感謝を捧げたいと思います。

今、内外の情勢はいっそう混迷を深め、ロシア軍による攻撃でウクライナ国民の数多くの命が失われ、多くの国民が危険にさらされています。いかなる理由であっても、他国への軍事侵攻は許されるべきものではありません。国民の安心・平和な暮らしを守るために、国家はどうあるべきか。

独立と自由をどのように守っていくのか。ウクライナ問題は、私たち日本人に本質的な問いを突き付けています。

麗澤海外開発協会は、総合人間学モラロジーの創建者・廣池千九郎（法学博士・1866～1938）の遺志に基づき、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46年（1971）、外務省所管の財団法人として設立されました。以来、主に開発途上国への貢献活動に取り組み、平成25年4月には内閣府より「一般財団法人」として認可され、今年で創立51年を迎えました。今日までご支援を賜りました多くの皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

現在は、主にタイ北部の少数民族の子供たちへの教育支援、ラオスやカンボジアにおける学校建設等への支援、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を行っています。また、当協会の副会長を務めたラオス出身の竹原茂・麗澤大学名誉教授の名を冠した「竹原基金」を設置して、貧困等の理由で学校に通えないアジアの子供たちへの教育支援を進めています。併せて、わが国の青少年の育成に資するべく、タイ、ラオス等へのスタディツアーも定期的実施してきました。これらのツアーに参加した学生・生徒・青年は、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して、国際協力についての理解を深め、国際貢献の場で活躍するための知識と心を大きく育てています。

世界の平和、人類の安心と幸福の増進に貢献する人材を一人でも多く育てていくことは、私たちの使命です。今、あらためて設立の原点に立ち返り、これまでの実績も踏まえ、国際社会に貢献する人材の育成と、心の通い合う国際協力をいっそう推進していきたいと願っています。

## JIJAFが進める バンコク・スラムでの教育支援

— RODA（麗澤海外開発協会）の支援を受けて推進 —

タイの首都バンコクには約2,000のスラムが存在し、そこで暮らす約200万人の住民は不安定な生活を強いられています。そこでの子供たちは、十分な教育が受けられず、児童労働に携わり、教育の機会が与えられないまま成人になっても就労機会が制限され、このことが更なる格差の拡大につながっています。これらの負の連鎖を断ち切るためにも、スラムにおける教育機会の充実はまさに喫緊の課題となっています。

### ■ JIJAFを中心にスラムへの教育支援事業を実施

バンコクのスラムで暮らす子供たちが十分な教育を受けられない状況において、JIJAF（Japan International Labour Foundation - Thailand／所長・関口輝比古）では、2020年度からRODA（一般財団法人麗澤海外開発協会／会長・廣池幹堂）の支援を受け、バンコクのオンヌット64小路にあるスラムへの教育支援事業を実施しています。このスラムにはミャンマー人の移民労働者（約400名）が居住し、大人たちは主にゴミ集積所周辺での日雇いのゴミ拾いとゴミ分別の仕事に従事していて、学校に通えず親と一緒に働く子供たちもいます。また、他のスラムよりも衛生環境が悪く、健康にも悪影響を与えていて、新型コロナの予防も十分ではなく、早急な支援を必要としていました。

そこでJIJAFを中心に、シーカー・アジア財団、SERC（State Enterprises Workers' Relations Confederation／国営企業労働組合連盟）等で作業委員会を設置し、区役所やコミュニティーリーダー等と連携しながら支援活動を進めました。2021年度は2020年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大による度重なるロックダウンや行動制限があったため、活動期間が限られましたが、RODAの支援により以下の成果を得ることができました。

### ■ 多くの成果を得ている教育支援

#### モバイルライブラリー事業を実施（計9回）

モバイルライブラリー事業の実施により、教育を通してスラムの子供たち（ミャンマー人5割、タイ人5割）に将来への希望を与えることができました。また、「子供たちの想像力を育てる」「集中力を高める」「語彙を増やす」等の効果がありました。今後も引き続き定期的の実施していきます。



成果を上げているモバイルライブラリー事業。移動図書館での人形劇も好評です

### モバイルラーニングセンターを設置して授業を実施（計58回）

モバイルラーニングセンター事業の実施により、ミャンマー人の子供たち13人（男児5名、女児8名）がミャンマー語の読み書きができるようになりました。今後は、ミャンマー語による算数等の授業やタイ語の授業を実施していく予定です。



モバイルラーニングセンターで学ぶ子供たち

### タイ人、ミャンマー人の大人を対象に公衆衛生教育を実施（計3回）

公衆衛生教育の実施により、タイ人、ミャンマー人の青少年、大人たちに新型コロナウイルスの予防法や対処法を伝えることができました。



公衆衛生教育を進める

### 関係者との緊密なコミュニケーションを進める

関係者（コミュニティ、各家庭、区役所等）との緊密なコミュニケーションをとることにより、教育支援に対する関係者の関心と理解を深めることができ、コロナ禍の行動制限による限られた期間にも関わらず、ここに紹介した教育支援事業をスムーズに実施することができました。

特に区役所とは、緊密な信頼関係が構築できたため、これまで実施できなかったイベントも実施することができ、「タイ正月」「新年」「子供の日」に関するイベントにおいても関係者や保護者等を招き、教育の重要性を伝えることができました。



## たくさんのご支援、ありがとうございます

〈令和3年4月1日～令和4年6月30日〉掲載に同意された方をご紹介します。(順不同)

### ■会費

廣池幹堂、甲良昭彦、木下廣太郎、関哲夫、山口明、大橋政夫、株式会社ピアかざりや、内田八代、長谷和治、竹原茂、土谷和光、渡辺康博、栗山清和、横山守男、杉浦廣道、山本祥子、柏谷康博、橋本半兵衛、大谷誠之、横山印刷株式会社、館林正孝、所一彌、藤村薫、山田雅雄、佐藤薬品工業株式会社、中川小恵子、長谷篤治、大垣モラロジー事務所、松本哲洋、小西直之、望月一雄、古川定邑、俣野幸昭、桑島義智、株式会社小松製菓、和田悦治、長谷川和子、井上源一、太田徳昭、増田一江、水田恵一郎、小林雅純、三木実、山本浩、永治達彦、島田京子、濱井利一、福井博康、桑島朋子、平塚靖永、須見好和、有限会社弘明堂、長谷真千子、木津孝道、風澤俊夫、岸上肇、菅間正則、岩田英志、横山明弘、黒白常光、菅澤運一、大山圭子、松岡孝柁、田中一宏、板垣廣光、田中聖則、沖野二郎、北川治男、伊藤温夫、鈴木貞夫、森口真美、結城保、村瀬泰比古、淡島成高、鈴木孝明、森田武志、青木久子、世田谷北沢モラロジー事務所、赤松良平、田口英樹、奥光明、小井咲子、東京港モラロジー事務所、飯島孝夫、能勢千晴、佐久間三郎、杉山幸史、我孫子利和、福代明正、濱島直隆、北澤泰子、藤田恭子、井上景介、三信株式会社、上総モラロジー事務所、上萩洋三、加古川モラロジー事務所、山口保安工業有限会社、林正勝、小松務、今井收、貴伝名裕之、藤田和広、鹿行モラロジー事務所、辻本篤史、廣池加津子、鈴木強、小松島モラロジー事務所、村田ボーリング技研株式会社、落合博志、黒須里美、木野稔、出口孝信、和田淳司、西村晴夫、焼津モラロジー事務所、長野モラロジー事務所、秩父モラロジー事務所

### ■準会費

俣野貴昭、俣野喜代美、長谷憲治、長谷美世子、佐藤惇、高野橋健吉、尾崎哲子

### ■一般寄付金

廣池幹堂、木下廣太郎、山口明、大橋政夫、野田ミート株式会社、内田八代、長谷和治、渡辺康博、横山守男、大田モラロジー事務所、坂井モラロジー事務所、株式会社ダイキョープラザ、杉浦廣道、山本祥子、望月賢一、橋本半兵衛、長谷篤治、所一彌、山田雅雄、俣野幸昭、株式会社小松製菓、山崎純雄、和田悦治、長谷川和子、島田京子、福井博康、荻野益男、平塚靖永、井上照悟、俣野貴昭、松岡孝柁、風澤俊夫、井川好長、木崎重安、俣野智美、佐藤惇、田中聖則、杉山雄彦、三浦順治、山田武司、森田政見、沖野二郎、八代京子、杉原善衛、相生モラロジー事務所、須賀川モラロジー事務所、松崎祥恵、青木久子、伊藤温夫、増田つかさ、飯島孝夫、四日市西部モラロジー事務所、東京港モラロジー事務所、佐久間三郎、廣池学園モラロジー事務所、神永正男、井上景介、三信株式会社、山口保安工業有限会社、藤田和広、大津モラロジー事務所、辻本篤史、廣池加津子、長野モラロジー事務所、秩父モラロジー事務所、天草モラロジー事務所、落合博志、出口孝信、市ノ渡廣志、麻野純一、石黒美恵子、井上貢一、笠田環嗣、笠原伸泰、加藤信次、加藤芳彦、神田茂、北敬子、橋高重久、鋤柄誠治、合田孝一、雑賀正光、齊藤朱美、齋藤寿子、澤田修一、柴垣明昌、島崎純、清水敏彦、長井孝介、長岡京モラロジー事務所、大楽吉郎、高坂賢吉、高野橋弘、内藤元彦、佐久間八重子、増田顕次郎、木野稔、西畑光廣、西村秀喜、野中康弘、橋本皇子、藤本武則、伏木重夫、前島義人、松島利允、三浦洋嗣、三笠忠克、株式会社三国一、有田モラロジー事務所、大阪生野モラロジー事務所、三上ハツミ、光安輝雄、御代川克之、大阪和泉モラロジー事務所、大阪城東モラロジー事務所、大阪船場モラロジー事務所 女性クラブ、井上和、西入間モラロジー事務所、春日部モラロジー事務所、京丹後モラロジー事務所、小松能美モラロジー事務所、小樽モラロジー事務所、堺北野田モラロジー事務所、静岡県モラロジー協議会女性クラブ、浜松西モラロジー事務所、高浜モラロジー事務所、静岡市葵モラロジー事務所、長崎北部モラロジー事務所、美津島モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、佐久モラロジー事務所、三戸モラロジー事務所、流山モラロジー事務所、矢沢倫子、麗澤大学 i Floor Charity Event、田辺モラロジー事務所、長崎モラロジー事務所、南陽モラロジー事務所、船橋モラロジー事務所、松戸モラロジー事務所、美馬モラロジー事務所、米子モラロジー事務所、宮田敏子、若狭モラロジー事務所、関俊章、鈴木強

### ■竹原基金

廣池幹堂、木下廣太郎、山口明、内田八代、長谷和治、竹原茂、横山守男、杉浦廣道、山本祥子、柏谷康博、橋本半兵衛、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、山本浩、俣野幸昭、桑島義智、和田悦治、長谷川和子、島田京子、福井博康、荻野益男、桑島朋子、平塚靖永、松岡孝柁、三木実、井川好長、横山明弘、大山圭子、森田政見、沖野二郎、八代京子、青木久子、伊藤温夫、山田莊一、飯島孝夫、神永正男、藤田和広、野瀬昌彦、鈴木強、山口保安工業有限会社、片山道則、加藤信次、桑島祥子、小林一正、島崎純、清水敏彦、鋤柄誠治、高坂賢吉、支援キルトの会ふーぶ、株式会社めこん、大阪和泉モラロジー事務所、浜松西モラロジー事務所、千葉静子、長井孝介、野中康弘、長谷川卓司、三浦洋嗣

### 《会員・寄付金・竹原基金募集中》

麗澤海外開発協会は、皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。会員等での入会と寄付金・竹原基金にご支援いただきますようお願い申し上げます。

種類	年額
会費	1口1万円(1口以上)
法人会員	1口1万円(1口以上)
準会員	1口2千円(1口以上)
寄付金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

※通信欄に寄付等の種類をご記入ください

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

### 一般財団法人

### 麗澤海外開発協会事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL：04-7173-3165

FAX：04-7173-8953

E-mail：kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp

HP：https://www.reitaku.or.jp/



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください。